

令和2年2月18日

## 「男性最後の難病に立ち向かう！」 世界初の診断ツール確立研究プロジェクトでクラウドファンディングを開始 「慢性前立腺炎診断ツール確立プロジェクトの公開」について

香川大学医学部泌尿器科学 教授 杉元 幹史が【「男性最後の難病に立ち向かう！」慢性前立腺炎診断ツール確立プロジェクト】を目的とする研究資金を募るため、クラウドファンディングを開始します。**慢性前立腺炎はその診断方法が確立されていません。**有病率さえ明らかではありません。そのため正確に診断されず困窮している、あるいは症状が多彩のためどこの診療科に行ってもいいのかもわからない、多くの潜在的な患者さんがおられます。**患者さんにとっても医療従事者にとっても難しい疾患である慢性前立腺炎の実態調査を行い、治療方法の確立につながる疫学調査と診断ツールの作成を行うプロジェクト**です。

このたび、慢性前立腺炎診断ツール確立を遂行、支援する研究プロジェクトをクラウドファンディングにより資金を募り実施いたします。これは、従来の競争的資金獲得による方法とは異なり、社会全般から広くプロジェクトに対する関心を高め、併せて研究成果の普及といった目的を有しています。このため、一般社団法人大学支援機構が運営する Otsucle を利用し、クラウドファンディングに挑戦することになりました。

### 1. プロジェクト名

「男性最後の難病に立ち向かう！」慢性前立腺炎診断ツール確立プロジェクト ※プロジェクト詳細は別紙

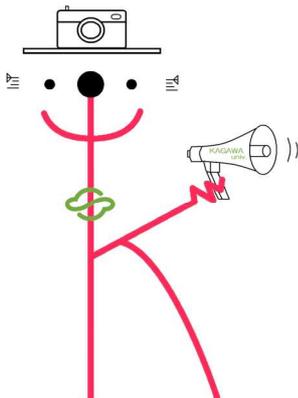
### 2. 研究代表者

香川大学香川大学医学部 医学系研究科 泌尿器科学 教授 杉元 幹史

### 3. クラウドファンディング詳細

- ・募集期間：2020年2月19日（水）10時～5月15日（金）まで
- ・目標金額：350万円
- ・寄附形式：確約型（All in）目標金額に達しなくてもプロジェクトを開始します。
- ・URL：<https://otsucle.jp/cf/project/2629.html>（2020年2月19日10時以降公開）

【※クラウドファンディングとは？】 インターネットを通して活動を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募る仕組みです。



#### ➤ お問い合わせ先

香川大学医学部・医学系研究科 泌尿器科学

教授 杉元 幹史（すぎもと みきお）

TEL：087-891-2202 FAX：087-891-2203

E-mail：[micsugi@med.kagawa-u.ac.jp](mailto:micsugi@med.kagawa-u.ac.jp)

※上記不在の場合

香川大学 医学部 総務課広報・法規担当

立石 晃一（8時30分～17時15分）

TEL：087-891-2008

## 「男性最後の難病に立ち向かう！」慢性前立腺炎診断ツール確立プロジェクト

### ■研究の始まり、きっかけ

泌尿器科学という領域で多くの患者さんを診察し、腎臓がん、膀胱がんなどの泌尿器科がん、特に前立腺がん、そしてそれらに対する腹腔鏡手術やロボット手術、腎移植などを行ってきました。診療を続けているなかで、我々は慢性前立腺炎の患者さんが思った以上に多いことが以前から気になっていました。

慢性前立腺炎の患者さんの多くは鼠径部（そけいぶ）や骨盤部など様々な部位で痛みや不快感、そして頻尿・残尿感、射精に痛みを抱えています。

しかし、現状としてはこの病気の調査・研究は日本ではあまり行われておらず、現在、何もわかっていないのに等しい状態です。そのため、正しい診断が行われずに何年、何十年も不快な症状に悩まされ続けている方は少なくありません。

そのような方は色々な病院や医師を渡り歩いて、最後には精神的なものだと決めつけられたりすることも多いようです。泌尿器科医としては、このよくわからない病気を解明する義務があると強く感じていました。それならば、診断が確立していない、実態が明らかではない、という現状を打破し臨床の現場に還元するためにすべきことがあります。

### ■課題と今すべきこと

慢性前立腺炎と確定診断するための診断基準がないことが大きな問題です。

最大の理由は、慢性前立腺炎の病因・病態自体がよくわかっていないからです。

最大の課題は、日本で一般的に受け入れられる診断基準を確立するための調査研究が急務です。

最初にすべきことは正体不明の難病ともいえる、慢性前立腺炎の実態をきちんと調査することです。

1. わが国における慢性前立腺炎の有病割合の推定
2. 慢性前立腺炎診断サポートツールの作成
3. 慢性前立腺炎のQOLに与えるインパクトの測定

#### 第一段階

国民代表サンプルとして20～70歳の男性5,000人に対して、NIH慢性前立腺炎問診票ともう一つの質問票（2種類）を用いて慢性前立腺炎と疑われる割合を調査します。

この時、問診票に更に有用なキーワードなど探していきます。

#### 第二段階

ここでは、クリニックでの診察で慢性前立腺炎が疑われた患者、300人を第一段階で確定した診断方法で統一して評価を行います。それを元に、診断ツールシステムの妥当性と評価、および改訂を行い、最終版を完成します。

## ■難しいこと

慢性前立腺炎は前立腺の病気では比較的よくみられる病気です。

今回のプロジェクトは、その慢性前立腺炎の確立した治療法を作成することです。

このプロジェクトの難しさは5,000人から10,000人の一般国民を対象として、慢性前立腺炎によるものと思われる症状を有する人の割合を質問票で拾い出すという地道な作業が必要になることです。また、実際にその質問票を用いて診断し、治療を行うことが本当に患者さんの利益につながっているのかどうかという検証作業にも非常に時間がかかります。

## ■エキスパートのチームで取り組む

これらの研究は、京都大学医療疫学講座の福原俊一教授のチームと認定NPO法人健康医療評価研究機構とOne teamとして協働作業で進めて参ります。

## ■皆様へお願い

現在、全国には慢性前立腺炎と診断されず我慢するしかない、埋もれている多くの患者さんがいます。社会生活の質が著しく低下して、困っている患者さんがいます。

そのような患者さんを救うために、是非とも皆様のご協力を得てこの研究を成功させたいと、泌尿器科医として我々には成功させる使命があります！

まずは、正体不明の男性の難病ともいえる慢性前立腺炎に対するわが国初の大規模な国民調査を行います。これによって慢性前立腺炎の診断のためのツールを開発します。これは世界初の試みです。支援者の皆様とともにこの男性特有の悩みを解決したいと思います。

私達の活動に共感いただける方は、ご支援頂けると幸いです。皆様、どうかよろしくごお願い致します。

・寄附の方法：このプロジェクトはクレジットカード決済以外に銀行、郵便振込によるご寄附も受け付けています。

・資金の使用：頂いた寄附金の一部をCF手数料やリターンの為の経費に充てさせていただきます。

■プロジェクトの詳細は<https://otsucle.jp/cf/project/2629.html>

(2020年2月19日10時以降公開)

